

瓊水

瓊のように清く 鉄のように強く 手をつなぎ
のびる北っ子

校長 田崎俊一郎



“創造”のために！

能を高め世阿弥は、能に関する練習法の中で“指をさして人に笑われても、心中には願力を起こして、一生の分かれ目だと思って能を捨てないこと。そう強く念じる以外に、稽古はない”と言っています。何事を成すにも実現を願う強い気持ちが大切であることを教えてください

さて、3学期の目標“創造”に向けて、子どもたちそれぞれが始業式の日立てた目標は実現できているのでしょうか？目標を達成するには、世阿弥が言う願力が必要ですが、具体的な方法として、日々目標の実現状況を自分なりに評価することが大切です。“今日は目標にあげたことがよくできたな、こんなところが足りなかったな”と、少しの時間でよいので振り返ることができれば、いつも目標を意識した生活ができるようになると考えます。3学期、コツコツと続けることで得られる新しい知識、感じ方や考え方がひとつでも増えるように日々励ましていきます。

教育相談

を活用し、一人一人に
対面して行いました。

長期のお休み明けには子どもたちの心も不安定になります。冬休み中の生活の様子と3学期の楽しい学校生活のため、9日から16日の期間中に教育相談を行いました。朝の時間



左は、文科省が発行する“学校における子供の心のケア”という冊子です。そこには、子どもの様子を観察するポイントとして、次のようなことが挙げられています。

- 体調不良をよく訴える
- 登校を渋る
- 挨拶に元気がない
- 友達と一緒に登校したがる

- 外で遊ぶことを嫌がるようになる
- 学習用具の忘れ物が多い
- ぼんやりしている
- 友達と係る場面でも参加しない

- 今までできていたことができなくなる
- 行事への欠席が増える
- 友達との会話が減る

子どもたちが不安を抱えている時には何かしらサインをだしていると考えられます。学校でもいつも以上に子どもたちの様子をしっかりとみていきます。

教室では…

3学期がスタートし、随分と学校生活のリズムも整ってききました。

1年生は算数の学習をがんばっていました。北小では、“学習の進め方”を用いて、ノート書き方なども丁寧に指導をしています。黒板に書く基本として、疑問や課題、まとめに関すること等は、囲む色まで決めて指導をしています。1年生もこのまじりにしたがって見やすくノートに書くことができるようになりました。ノートを見ると、子どもたちの学習の様子がよくわかります。学習したことを振り返るためにノートにまとめることはとても大切なことです。家庭でも子どもたちの学習の様子を知るためにノートを見られることをお勧めします。

